

## 特例の教育課程実施状況について

### 百名小学校 外国語活動の取り組み

南城市立 百名小学校

#### 1 授業の様子

##### (1) 低学年



顔や体の言い方に慣れるように、ジェスチャーをつけたり、『サイン セイズ』で活動したりして楽しく学習した。顔の部位を覚えたら、お正月遊びの福笑い『Make-a-face game』で楽しみました。

Greeting Chant を毎時間行うことで、一人一人が楽しく英語の学習に取り組む準備ができた。また、単語を確認した後、ゲームで繰り返し発言することで楽しくその日のめあてを達成することができた。

##### (3) 中学年



〈Unit 7 This is for you. 〉カードをおくろう

デジタル教材で、色々な形や色について学習した。自分の身の回りにあるものを英語で表現したり、伝えたりする活動を楽しんだ。教科書にある5種類のカードを見て、世界中で使われているカードの場面や状況、意味などについて知り、グループの友達に自分の気持ちを伝えるグリーティングカードを作り、日本語で言葉を伝えながらプレゼントする活動をした。

自信がない友達に、周囲にいる友達が優しく教えたり、応援する場面も見られた。

JTEが、テキストだけでなく百名小の各教室の写真を撮り提示して下さったので、アルファベットにも注目する児童がいた。

(5) 高学年



Unit5 「She can run fast. He can jump high」

【写真左】 「Can you ~ ?」 「Yes, I can. / No, I can't.」 のインタビューを通して、他者のできること、できないことを理解し合う活動を行いながら、コミュニケーション能力を高めていけるような活動を設定した。

【写真右】 上記の活動を行ったあとペアを組み、他己紹介を行った。

「This is Mr/Ms ○○. He / She can ~. He / She can't ~. 」を使って、活動を展開した。互いに発表や発音の仕方を教え合う場面が見られた。

〈Unit 3 He is famous. Shi is great. 〉 We Can!

全体で、単語を確認した後、神経衰弱ゲームを行った。カードをめくるたびに単語を発音して、ペアになったカードはゲットできる。ゲームをしながら楽しく英単語を覚えている。

〈Lesson 5 Let's go to Italy. 〉 Hi, friends!2

単元前半では、国名と世界遺産の英語表現を学習した。単元のまとめでは、「Where do you want to go?」の質問に対し「I want to go to ～. I want to see ～」と自分の行ってみたい国とそこで何を見たいかをインタビューし、尋ねたり、答えたりすることができた。

## 2 成果と課題

### (1) 成果

- ・歌やゲームを取り入れながら学習を進めたことで、意欲的に取り組む姿が見られた。
- ・ICT 機器を活用した授業を取り入れたことで、外国語の定着が高まりつつある。
- ・ALT や JTE の発音に似せようと取り組む姿が見られた。
- ・書く活動を通して、アルファベットの定着が高くなった。
- ・学校内の掲示物を英語コーディネーターが作成し掲示していたので、児童が自然と英語に触れることができた。

### (2) 課題

- ・教材研究を含めた打ち合わせの内容の充実、その時間の確保が必要である。
- ・教科外での英語の活用。(例：号令、昼の放送、English day の設定…等)
- ・英語になれていない児童の発表が少ない。